



ダーマカーバー使用時の留意事項について

2026/10 月

株式会社バートル・プラス

このたび、弊社ダーマカーバー腕用をご使用中の患者様において、その上から自己抜去防止用ミトンを併用されていた際、第一指間部(母指と示指の間)に皮膚トラブルが発生したとの事例が報告されました。

本製品は医療機器・医薬品ではございませんが、患者様の安全なご使用と局所トラブルの発生防止のため、発生要因および使用上の注意点について以下の通り共有・注意喚起申し上げます。

1. 発生事例の概要

ダーマカーバー腕用の上から ED チューブ抜去防止用ミトンを装着していた患者様において、製品の生地や縫い目が第一指間部(母指～示指間)に強く引き込まれた状態が持続し、気づかないうちに同部位へ圧迫・摩擦および強度の外力が加わり続けた結果、第一指間部に創傷が形成されました。

2. 発生リスクと複合要因

アームカバー単体でのご使用に加え、以下のような複合的要因が重なることで皮膚トラブルのリスクが高まることが確認されています。

A. 拘束具(ミトン等)との併用:

- ・ ミトン等で上からの被覆・固定があることで、内部観察が困難になり、異変の発見が遅れやすくなる。

B. 特定の部位への持続的な外力:

- ・ 装着時に生地を中枢側(肩・肘側)へ強く引き上げたまま固定される。
- ・ ベッド上での体動や就寝中の無意識な動きにより、生地がずれ指間に食い込む。



3. 予防策および推奨される対応

トラブル防止のため、ご使用にあたっては以下の点にご配慮いただけますようお願い申し上げます。

a) 装着時の調整と除圧：

アームカバー装着時、中枢側に強く引っ張りすぎないように余裕を持たせて装着してください。また、第一指間部の付け根に生地縫い目が強く当たりテンションがかかっている場合は、生地を少しずらして指間の圧迫を解除(除圧)してください。

b) 高リスク患者様における定期的な皮膚観察：

抑制ミトン併用時や体動が激しい患者様など、ハイリスクと考えられる場合は、定期的にミトンや被覆物を外し、第一指間部をはじめとする皮膚状態を直視にて観察してください。

c) 緩衝材(保護材)の活用検討：

必要に応じて、ウレタンフォームやコットン等をドーナツ状(または扇状)に加工するなどして、第一指間部に挟み込むなど、緩衝材を挟んで圧迫や擦れを緩和する対応をご検討ください。

本件に関するお問い合わせやご不明な点がございましたら、下記までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

今後とも製品の安全性向上に努めてまいりますので、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【お問い合わせ】

株式会社バートル・プラス
カスタマーサポートセンター
contact@batelplus.jp

